

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

1階 リハビリ 平出 朱子

通所リハビリでは、利用者様一人ひとりの身体状況や目標に合わせて、個別にプログラムを組みリハビリを行っています。

痛みのある所をホットパックで温めたり、筋肉や関節の硬くなっている所のストレッチをしたり、機器を使用した筋力トレーニングや歩行訓練を行っています。また生活動作に合わせてトイレの動作練習などを行うとともに、自宅での生活状況を確認し、必要に応じて手すりやスロープ等、福祉用具の相談や助言も行っております。

寒くなると身体が硬く、動きにくくなります。利用者の皆様には少しでも身体を動かし、日常生活を楽しく過ごしていただけるようお手伝いしていきたいと思っております。



3階 介護 村山 丈晴

10月21日に利用者皆様にお寿司を召し上がっていただきました。

毎年恒例の行事で、以前は寿司職人の方に来所して頂き、利用者様の前でお寿司を握っていただいております。しかしながらここ数年は、コロナ禍ということもあり職人の方を呼ぶことは叶わず、出前して頂いたお寿司を、一人ひとりに職員がとりわけ提供させていただきます。

それでも利用者の皆様からは「美味しい」「おかわり」という声が何度も聞かれ、普段小食な方もたくさん召し上がっていらっしゃいました。



2階 看護 古山 由歌子

朝夕の冷え込みは厳しく、山々は黄や赤に染まり、冬はすぐそこまで訪れてきています。今年の冬は新型コロナウイルスとインフル

エンザの同時流行が懸念されています。

当施設でも手洗いや手指の消毒を適宜行い、感染症対策を徹底する事で、利用者の皆様が日々を安心して過ごしていただけるよう援助していきたいと思いを。

ご家族の皆様も感染対策を継続することで、自身を守りお身体をご自愛ください。



相談室 佐々木 祥子

昨年に引き続き、今年もご家族の皆様参加による文化祭の開催は中止させていただきます。

また昨年同様にご家族の皆様を対象とした家族介護教室の開催を12月に検討中です。

なお新型コロナウイルスやインフルエンザの感染、流行状況により、中止となる場合もございますので、ご了承下さい。



【面会中止のお知らせ】

全国的な新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、令和4年1月8日より当面の間、全ての面会を中止させていただいております。面会制限解除の際は随時ホームページ等でお知らせ致します。

また10日以内に県外への往来があった方や県外往来者との接触があった方は入館をご遠慮いただいております。

上記の方は、備付けのインターンをご使用いただくか、☎0184-23-7100までご連絡をお願い致します。

ご家族の皆様には長期間にわたり、ご不便やご心配をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をお願い致します。

なおご不明な点がございましたら職員にお尋ね下さい。

○お問い合わせ先

介護老人保健施設「しょうわ」

0184-23-7100 (代)